



多摩市立瓜生小学校
瓜生小だより



令和6年度第2号
令和6年5月1日

答えは「心」の中に

校長 池田 泰章

青葉若葉の光る風薫る5月です。地域の皆様、保護者の皆様におかれましては、日頃よりの学校支援、誠にありがとうございます。今年度のPTAの役員を引き受けてくださいました皆様には、厚く御礼申し上げます。1年間、どうぞよろしく願いいたします。

さて、新年度も1か月を経過して、新たな環境に慣れつつあるとともに疲れも出てくる頃です。そんな時のゴールデンウィークは、心も体もリフレッシュできる最高の機会です。有意義な休日になることを心より願っています。気温も急に高くなりそうです。体調を崩さないように、そして交通事故に遭わないように十分に気を付けて、楽しい休みにしてください。



さて、教育の世界でよく耳にする言葉の一つに「魚を与えるのではなく魚の釣り方を教えよ」という言葉があります。中国で古くから伝わる「人に魚を与えると、1日で食べてしまう。しかし、人に釣りを教えれば、生涯食べていくことができる」という言葉が元になっているようです。

お腹をすかした子供に対して、「魚を釣ってあげる」「魚の釣り方を教える」または「釣竿を渡すだけ」のどれが正解なのでしょう。どの方法にも、一長一短があるように思います。今、直面している困難を助けることも時には大事です。しかし、本質的には、子供のためになるとは限りません。大切なのは「その子にとって何が1番必要か」を考え、教えたり環境を整えたりすることです。

「コーチング」の世界では「答えはその人の中にあり」と言われます。教えるのではなく、自分自身で気付くことがとても大切だと言われています。子供が自ら気付き、学ぶための機会を確保するのも大人の役目でもあります。

今後とも、地域の皆様、保護者の皆様には、本校の教育活動に対する深いご理解と温かいご協力を心よりお願いいたします。

「日常の五心」

- ☆「はい」という 『素直な心』
- ☆「すみません」という 『反省の心』
- ☆「おかげさま」という 『謙虚な心』
- ☆「私がします」という 『奉仕の心』
- ☆「ありがとう」という 『感謝の心言』